

12月26日さいたま市長メッセージ

みなさん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市では、平成4年に国の水道事業調査団の派遣に参加して以来、ラオス国に対する水道分野の技術協力を行っており、JICAの技術協力プロジェクトを通じた職員派遣や、研修生の受け入れなどを行ってまいりました。

こうした中、去る11月に、私自身12年ぶりにラオス国を訪問いたしました。

現地では、ラオス国の3つの水道公社と技術協力に関する覚書を更新したほか、首都ビエンチャンの市長やルアンパバーン県知事などを表敬訪問し、今後の技術継承や人材交流、友好関係の強化について意見交換を行いました。

また、技術協力の成果検証のため、管路の施工現場や浄水場を視察し、本市のノウハウが活かされている様子を確認することができました。

水道公社の職員が学校へ出向いて行う「水道教室」では、水の大切さや水道の仕組みを子どもたちが楽しそうに学んでいました。本市の長年にわたる技術支援が実を結んでいることを肌で実感することができました。

しかしながら、ラオス国の水道普及率はいまだ25%と低く、水の安定供給や公衆衛生面の問題など課題が山積しており、引き続き技術支援を継続していく必要があります。

安全な水を確保することは、SDGsに資する取り組みでもあり

ます。引き続きラオス国への支援を通じて、国際貢献を行ってまいります。

今年も残すところわずかとなりました。市民の皆さんには、健康にくれぐれもご留意をいただき、お健やかに新年をお迎えください。